

日本学会議 言語・文学委員会  
古典文化と言語分科会（第24期・第2回）議事要旨

開催日時：平成30年 3月31日（土）14：00～16：20

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 南館ミーティングルーム

出席者：安藤宏、小倉孝誠、川合康三、木田章義、糸川麻里生、倉員正江、高橋宏幸、田邊玲子、西村賀子、三宅晶子、山田俊治、渡部泰明。

欠席者：大芝芳弘、久木田直江、佐藤利行。

【議事内容】

●前回議事要旨の承認

●研究発表

三宅晶子委員が研究発表「古典教育の現状－小学校・中学校の国語教科書－」を行い、その内容を踏まえて討議を行った。

●今年度の活動方針について

- ・次回の第3回会議は、7月30日（月）午後2時～4時、日本学会議・会議室）にて行う。研究発表は倉員正江委員が「江戸時代の往来ものに見る古典教材について」（仮題）、安藤宏委員が「高等学校国語教科書（現代文）の現状と課題」（仮題）を行う。当面、日本の古典教育、教科書の現状について問題点を明らかにし、その後諸外国の古典教育の現状について検討を行う。

以上